

地域主体のコミュニティバス(大江循環線)の実証運行

[実施に向けての方向性]

- まずは、期間限定(1年間)の実証運行として地域主体で実施(瀬田学区自治連合会と交通事業者の間で委託契約を締結)
- 実証運行の利用目標を、**1日当り平均利用者数90人以上**とし、運行開始から6ヶ月後を目途に、自治連合会と交通事業者の間で協議し、目標の達成状況に応じて、継続の可否を判断
- 実証運行が継続できるよう、地域を上げて利用促進に取り組む
- 1年間無事に実証運行が継続できた場合、翌年度以降、本格運行に移る